



QPI

- [QPI \(1 ページ\)](#)

QPI

次の表は、BIOS ポリシーまたはデフォルトの BIOS 設定を介して行うことができる QPI の BIOS 設定を示しています。

名前	説明	サポートされる属性			
		バージョン	プラットフォーム	値	依存関係
[QPI リンクの周波数選択 (QPI Link Frequency Select)]	Intel QuickPath Interconnect (QPI) のリンク周波数で、MT/s (毎秒 100 万転送) 単位で選択します。	4.0(4)、4.1(1)、4.1(3)、4.2(1)	C220 M5、C240 M5、B200 M5、C240 M6、C220 M6、C225 M6、C245 M6	自動、6.4 GT/s、7.2 GT/s、8.0 GT/s、9.6 GT/s	

名前	説明	サポートされる属性			
		バージョン	プラットフォーム	値	依存関係
[QPI スヌープモード (QPI Snoop Mode)]	いずれかのスヌープモードで QPI を構成できます。	4.2(1)	C240 M6、C220 M6、C225 M6、C245 M6	<p>ホーム スヌープ、Cluster On Die、OSB 付きホームディレクトリ スヌープ、早期スヌープ、自動</p> <ul style="list-style-type: none"> • [ホーム スヌープ (Home Snoop)]: スヌープは、常に、メモリ コントローラのホーム エージェント (集中型リング停止) によって起動されます。このモードは、早期スヌープよりローカル遅延が多くなりますが、未処理トランザクションが増えた場合に予備のリソースを使用できます。 • Cluster On Die : このモードは、コアが 10 以上のプロセッサでのみ使用できます。高度に NUMA 最適化されたワークロードに最適なモードです。 • [早期スヌープ (Early Snoop)]: 分散キャッシュ リング停止で、別のキャッシング エージェントにスヌープ プローブまたは要求を直接送信できます。このモードは、遅延が少なく、スレッド全体でデータ セットを共有しているためにキャッシュ間転送からメリットが得られるワークロードや NUMA 最適化されていないワークロードに最適です。 	

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。